

ベニカナチュラルスプレー

有効成分：還元澱粉糖化物…0.60%

調合油…0.32%

バチルス・チューリングエンシス菌の生芽胞及び産生結晶毒素

(力価として 1000B.m.n 単位/mg) …10.0%

農林水産省登録 第 24643 号

①グループ登録

作物名	適用病虫害名	使用時期
野菜類※1	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類	発生初期
	ハスモンヨトウ、うどんこ病	発生前～発生初期
結球あぶらな科葉菜類※2、 非結球あぶらな科葉菜類、 あぶらな科野菜（花蕾及び茎）	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類	発生初期
	アオムシ、ハスモンヨトウ、うどんこ病	発生前～発生初期
果樹類 (りんご、かき、かんきつを除く)	ケムシ類、うどんこ病	発生前～発生初期
	ハダニ類	発生初期
花き類・観葉植物 (ばら、きく、アガベを除く)	アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類	発生初期
	うどんこ病、灰色かび病、ハスモンヨトウ	発生前～発生初期
樹木類	ケムシ類、うどんこ病	発生前～発生初期
	ハダニ類	発生初期

※1 結球あぶらな科葉菜類、非結球あぶらな科葉菜類、あぶらな科野菜（花蕾及び茎）、だいこん、ねぎ、トマト、ミニトマト、なすを除く

※2 キャベツを除く

注：上記の「結球あぶらな科葉菜類」とはキャベツ、はくさい、メキャベツ等のことです。

注：上記の「非結球あぶらな科葉菜類」とはこまつな、チンゲンサイ、ルッコラ等のことです。

注：上記の「あぶらな科野菜（花蕾及び茎）」とはカリフラワー、ブロッコリー、茎ブロッコリー、コールラビー等のことです。

②作物別登録

作物名	適用病虫害名	使用時期
とうもろこし	アワノメイガ	雄穂抽出期～雌穂抽出期

だいこん	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類	発生初期
	アオムシ、ハスモンヨトウ、うどんこ病	発生前～発生初期
キャベツ	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類	発生初期
	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、うどんこ病	発生前～発生初期
ねぎ	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類	発生初期
	シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ、うどんこ病	発生前～発生初期
トマト、 ミニトマト	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類、 トマトサビダニ	発生初期
	オオタバコガ、ハスモンヨトウ、うどんこ病	発生前～発生初期
なす	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類、 チャノホコリダニ	発生初期
	うどんこ病、ハスモンヨトウ	発生前～発生初期
りんご	ケムシ類、うどんこ病、ハマキムシ類	発生前～発生初期
	ハダニ類	発生初期
かき	ケムシ類、カキノヘタムシガ、うどんこ病	発生前～発生初期
	ハダニ類	発生初期
かんきつ	アゲハ類、ケムシ類、うどんこ病	発生前～発生初期
	ハダニ類	発生初期
ばら	アブラムシ類、ハダニ類、チュウレンジハバチ、コナ ジラミ類	発生初期
	うどんこ病、黒星病、灰色かび病、オオタバコガ、 ハスモンヨトウ	発生前～発生初期
きく	アブラムシ類、ハダニ類	発生初期
	ハスモンヨトウ	発生前～発生初期
アガベ	アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類、ネギアザミ ウマ	発生初期
	うどんこ病、灰色かび病、ハスモンヨトウ	発生前～発生初期

●希釈倍数：原液 ●使用方法：散布

■本剤および、還元澱粉糖化物、調合油、BT を含む農薬の総使用回数の制限はありません。

■食用作物には収穫直前まで使用可能です。

・2026 年 7 月 22 日付：花き類・観葉植物（ばら、きく、アガベを除く）に変更

アガベの追加

- ・ 2026 年 4 月 22 日付：果樹類（りんご、かんきつ、かきを除く）、かき、かんきつ、りんご、
トマト、ミニトマト、花き類・観葉植物（ばら、きくを除く）、ばら、
きくの適用害虫追加
なす、とうもろこしの作物追加
- ・ 2023 年 11 月 22 日付：かんきつの作物追加
りんごの適用病害虫の追加
果樹類の変更
樹木類の変更、適用病害虫の追加
ばらの適用病害虫の追加